

事業目標と方針

「ひとにやさしいまち・だれもが住んでみたいまち
美濃加茂」を実現するために、各部では年度当初に
目標を掲げて事業推進をしています。
各部長から、今年度の方針や目標を説明します。



部長 助川志津雄

健康福祉部

安心して暮らせる
健康福祉のまちづくり

市民の皆さんが、安心して暮らせるように、新しく始まる健康福祉施策の周知を図るとともに、充実に努め「ひとにやさしいまちづくり」を推進します。最初に、乳幼児・児童福祉については、子育て環境の整備を図るため、新

生児に対する家庭訪問や新たな子育てサロンの開設、妊婦に対する健診助成の拡充に努めます。医療費の助成については、4月から中学校卒業までに拡充しました。次に、保険事業については、引き続き、がん検診・婦人健診を行うほか、国の制度改革に基づき40歳から74歳までの国民健康保険の加入者を対象に、特

定（メタボリック）健診を、75歳以上の皆さんには高齢者健診を実施し、市民の皆さんの健康づくりを進めます。また、市民福祉では、地域福祉計画に基づき、給付事業や生活支援事業を推進するとともに、来年度から始まる第2期障がい福祉計画と第4期介護保険事業計画を策定し「ひとにやさしいまちづくり」を推進します。



部長 酒向 規男

環境経済部

快適な生活環境の保持と、
活力ある経済活動の推進

地球温暖化防止が急がれる中、地球にやさしい環境を確保するため、環境基本条例などに基づき計画的な事業を推進し、省資源、省エネルギー、リサイクルなどの循環型社会をつくっていききたいと思います。特に、増え続

ける可燃ごみの減量化をはじめ、レジ袋の削減に向けた取り組みを積極的に推進し、市民総参加の運動を展開していききたいと思います。商工振興では、中心市街地の活性化をはじめ、市民の皆さんの就業の場の確保と市民所得の向上を図るため、新たな工場用地の創出に併せ、積極的に企業誘致の推進を図っていきます。

観光では、太田宿中山道会館を拠点とし、平成記念公園「日本昭和村」や「日本ライン下り」などと連携し、市内への誘客を増やして、にぎわいと活力あるまちづくりを進めていきます。農業振興では、地産地消を大いに奨励し、消費者の食への不安を少しでも取り除くために、安心安全な農産物の生産につなげたいと考えます。



部長 伊藤 正勝

建設部

人が集い、触れ合う、
まちづくり・みちづくり

まちづくりでは、土地区画整理事業を推進し、本年度は薬師下諏訪土地区画整理事業の完成と、周辺地域の住環境の整備を目指すとともに、新たな事業計画を推進します。また、災害対策として急傾斜地崩壊対策事業の推進や、

住宅の耐震化事業の促進にも努めます。まちづくりでは、国道をはじめ主要地方道、県道、県営農道など事業の早期完成を要望してまいります。市道では、幹線道路である西畑正理線の本年度での完了を目指し、神明森山線は前年度に引き続き改良工事を進め早期の完成に努めます。また、生活関連道路の改良、舗装、側溝などの整

備を推進していきます。交通弱者に対する安全対策では、太田地区で実施中の「あんしん歩行エリア整備事業」を引き続き行うなど、バリアフリー化をさらに進めます。道路や公園などの公共施設については、パトロールを実施して、市民の皆さんが、安心、安全に利用できるよう適切な管理に努めていきます。



部長 佐合 秀彦

水道部

安心安全な水の安定供給と
全市水洗化を目指して

水道事業は、昭和33年10月の供給開始から50年を迎えました。これからも配水施設の耐震化や老朽化した水道管の布設替など適正な維持管理により、安心・安全で安定した給水に努めるとともに、将来にわたって健全経営を維

持してまいります。今年度は、平成21年度完成を目指し改築工事中の森山浄水場において先月から給水を開始しました。また、金谷調整池の耐震補強工事、森山団地内の老朽管対策を引き続き進めます。下水道事業では、全市水洗化に向け順調に整備を進めています。前年度に引き続き今年度末の完成に向け、蜂屋

川公共下水道事業の蜂屋川クリンセンター増設工事を推進するとともに、水洗化率向上のため一部面整備や道路新設改良などに伴う污水管渠築造工事を進めます。また、引き続き本郷雨水幹線築造工事の推進や、加茂野町市橋地区の加茂野第1雨水幹線築造工事などの浸水対策事業も推進し、快適で安全な暮らしの実現に努めていきます。

快適で安心・安全な
まちをめざして

効率的な公共サービスの充実



部長 酒向 栄司

総務部

テレビ放送が、これまでのアナログ方式からデジタル方式へと、平成23年7月から変わり、市内の北部地域などでは地上テレビ放送を見ることができなくなりました。また、北部地域ではインターネット接続環境の改善が課題と

なっています。こうした課題の対応策として、民間事業者によるケーブルテレビ整備事業に助成を行い、情報格差の解消を進めてまいります。防災対策として、東海・東南海沖地震など大規模な地震の発生に備え、全国瞬時警報システムによる緊急地震速報が伝達できるよう防災行政無線の更新を行うとともに、今後も計画的に防

災情報伝達システムの充実に努めてまいります。交通安全対策では、交通安全啓発活動の推進と、子どもや老人、あるいは外国人を対象とした交通安全教室の開催など、事故防止啓発に努めます。市民安全推進のためには、引き続き生活安全推進員を配置し、市民の相談や防犯啓発などに努めます。

効率的な公共サービスの充実



部長 宮口 誠

経営企画部

経営企画部では、総合的な計画や予算、行政組織、職員の育成など行政運営に関すること、自治会を中心とした地域振興に関すること、そして外国人との共生に関することを担当しています。予算は、公共サービスを担う基本であり、昨年8月公表の「中期財政見通

し」に基づき「美濃加茂市」という自治体を経営する視点に立ち、健全財政の維持に努めながら、職員の意識改革など行政改革を進めます。地域での課題が多様化する中、限られた予算での対応には、どうしても限界があります。市民の皆さんと行政がそれぞれの役割を担い、協働していくことが一層必要であり、皆さんの地域と文化の向上やスポーツの振興に努めていきます。

また、多文化共生社会の実現を目指して、地域で共に暮らす市民としての必要な情報を的確に伝えながら、望ましい地域づくりを進めます。職員も一丸となって、市民の皆さんと同じ目線で考え、公共サービスの一層の充実を目指してまいります。



部長 星野 広典

教育部

教育の推進

当市の教育は、「みのかも教育21フロム0歳プラン」により、家庭・学校・地域社会が連携し、次代を担う子どもの個性と可能性を伸ばすための教育を基本として、未来を担う人づくりを目指すとともに、市民一人一人のライフスタイルに応じた生涯学習の充実

学校教育では、きめ細かな教育の充実を図るため、小学1・2年生を対象に実施している35人学級を3年生にも実施するほか、小学校少人数指導講師、生活支援講師などの配置をします。また、昨年度から進めている学校給食センターの整備事業は、3学期から

児童生徒に配食できるように整備を進めています。また、生涯学習では、家庭教育や青少年教育などの子育て支援事業、公民館を中心とした各種講座を充実していきたいと考えています。そのほか、坪内逍遙大賞などを決定し、地域文化の振興や、平成24年開催予定の岐阜国体に向けた準備に取り組んでいます。